



報道関係各位

2016年12月27日

第12回「Signa 甲子園」を開催
GE製MRIのユーザーが、撮像技術の工夫を共有、MRI診断の質の向上を図る
～川崎幸病院 中孝文先生が金賞受賞～

医療課題の解決に取り組むヘルスケアカンパニー、GEヘルスケア・ジャパン株式会社（東京都日野市、代表取締役社長：川上潤）は、12月17日（土）、MRI（磁気共鳴断層撮影装置）の先進的な撮像技術の工夫の共有を通じて、MRI診断の質の向上を図る「Signa 甲子園 2016」（MR Signa ユーザーズミーティング・全国大会）を下記の通り、開催しました。

MRI画像の質は、撮像を担当する診療放射線技師や臨床検査技師のテクニックに依存する面が大きいことから、GEヘルスケア・ジャパンでは、GE製のMRIユーザーがそれぞれの撮像技術の創意工夫などの情報交換を行う「Signa ユーザーズミーティング（UM）」を全国各地で開催しています。また、技師同士のさらなる交流を図り、ユーザーの皆様に進んだ撮像技術を習得していただけるよう、2005年より、ユーザーズミーティングの全国大会である「Signa 甲子園」を実施しています。

12回目となる今回の「Signa 甲子園 2016」では、約180名の全国のGEMRIユーザーの出席のもと、全国各地のUMから選出された10名の代表が、コンテスト形式で実際の臨床にすぐに応用できるアイデアの数々を発表しました。会場にいる参加者全員による採点の結果、最優秀の金賞には、神奈川UM代表、川崎幸病院の中孝文先生による「small-FOV SSFSE」が選ばれました。（当日の詳細は次ページをご参照ください）。

記

日時： 2016年12月17日（土）15：00～19：30
会場： TKPガーデンシティ横浜
主催： GEヘルスケア・ジャパン株式会社
企画・運営： Signa 甲子園 2016 実行委員会
実行委員長： 福井県立病院 村中良之先生
スケジュール： ・全国コンテスト（全国10代表が発表）
・MRI最新技術紹介
・Signa Master 選手権（GEのMRIに関するクイズ）
・表彰式

以上

「Signa 甲子園 2016 開催報告」

Signa 甲子園 2016 は 12 月 17 日（土）、TKP ガーデンシティ横浜にて約 180 名の GE MRI ユーザーの参加のもと開催されました。今年是全国の 21UM が予選に参加。その中から、Signa 甲子園実行委員会の厳正な審査のもと、10 名の代表が選ばれました。当日はこの 10 名の代表が、実際の臨床にすぐに応用できるアイデアの数々を発表しました。

発表終了後、各 UM の審査員および会場の参加者が、「画質」・「創意工夫」・「臨床的実用性」を総合的に評価し、以下の通り 3 名の入賞者および特別賞受賞者が決定しました。

金賞：神奈川 UM 川崎幸病院 中 孝文先生

発表演題：「small-FOV SSFSE」

発表要旨：体幹部の T2 強調画像の撮像において、SSFSE (Single Shot FSE) 法で従来よりも撮像視野 (FOV) を絞った、より高分解能な撮像を行うためのアイデアが発表されました。

銀賞：千葉 UM 千葉県こども病院 小野 浩二郎先生

発表演題：「Perfect な SHINKEI 描出への挑戦... - PROPELLER 法で腕神経叢 - 」

発表要旨：従来の撮像方法では困難だった腕神経叢の描出について、PROPELLER 法にて撮像条件を工夫することで良好な画像を得ることができるというアイデアが発表されました。

銅賞：埼玉 UM 三郷中央総合病院 木下 友都先生

発表演題：「3D-short TR FRFSE による濃縮胆汁の描出改善法」

発表要旨：MRCP 撮像において、濃縮胆汁の場合でも撮像条件を工夫することで、短時間で高画質な画像を得ることができるというアイデアが発表されました。

特別賞- GE Application Selection 賞：千葉 UM 千葉県こども病院 小野浩二郎先生

弊社 MR アプリケーショングループメンバーが本大会審査員と同じ基準で最優秀演題を選出しました。小野浩二郎先生は銀賞とのダブル受賞です。

表彰式では、今回の「Signa 甲子園 2016」で実行委員長を務めた福井 UM 福井県立病院 村中良之先生から入賞者に楯の贈呈が行われました。

Signa 甲子園の大きな特長のひとつとして、全国の MR ユーザーの交流を深められことがあげられます。毎年、大会では全国様々な UM での情報交換を含め、ユーザー同士の親交が深められています。普段はなかなか機会の少ないこうした場合は、他の技師のテクニックや工夫を習得し、自身の撮像技術を高められる場として好評を得ています。また、もう一つの特長として、発表されたアイデアが大会後に MR ユーザーの各施設ですぐに活用できることがあります。発表された内容は GE MRI ユーザーのコミュニティーサイトである『Signa・る』*で公開されます。この Web サイトで発表の様子が確認できるため、多くの MRI ユーザーがさまざまなアイデアを臨床検査で活用できます。今年の発表スライドについては、年内に公開予定です。尚、この「Signa・る」は開設後 12 年で、約 3,000 名のユーザー登録を獲得しています。

*Signa・る：https://gecommunity.on.arena.ne.jp/signa-l_entrance/index.html

当社ではこのような UM の開催を、MRI のみならず、CT や PET、核医学装置、超音波診断装置など他の製品群にまで拡大しているほか、開催地域を国内だけでなく世界各国に広げています。

また最先端の技術開発に努め、時代のニーズに合った製品を市場に投入していくとともに、複雑高度化する診断装置の性能をフルに引き出してもらえよう、ユーザーの方々のアイデアや工夫も共有しながら、顧客サポートにより一層注力していきます。



Signa 甲子園 2016 受賞者
 (写真左より)
 小野浩二郎先生
 中孝文先生
 木下友都先生

Signa 甲子園 2016 の発表演題と発表者 (UM : User's Meeting)

UM 名	演題名	所属名	演者名 (敬称略)
北海道 UM	T1 だって PROPELLER	手稻溪仁会病院	増山 研
青森 UM	3D-DIR like image	弘前大学医学部附属病院	大湯 和彦
千葉 UM	Perfect な SHINKEI 描出への挑戦...- PROPELLER 法で腕神経叢	千葉県こども病院	小野 浩二郎
埼玉 UM	3D-short TR FRFSE による濃縮胆汁の描 出改善法	三郷中央総合病院	木下 友都
東京 UM	MR Neurography by spiral scan	順天堂大学医学部附属練馬病院	伊藤 憲之
神奈川 UM	small-FOV SSFSE	社会医療法人財団 石心会 川崎幸病院	中 孝文
静岡 UM	割って、貼って、くっつけて ~息止め MRCP の挑戦~	静岡済生会総合病院	山崎 敬之
富山 UM	Double IR (DIR)のようなイメージを得たい	砺波総合病院	山下 真紀子
神戸 UM	Thick-sliced 3D Cube-FLAIR	兵庫県立がんセンター	重永 裕
北九州 UM	欲張らないで！肩関節は半分でいいの	国家公務員共済組合連合会 新別府病院	加藤 広士

GE ヘルスケア・ジャパンについて

GE ヘルスケア・ジャパン株式会社は、世界が直面する困難な課題解決に取り組む GE ヘルスケアの中核拠点の 1 つとして、1982 年に設立されました。国内に開発、製造から販売、サービス部門までを持ち、日本のお客様のニーズにお応えする、先端的な医療技術ならびに医療・研究機関向けの各種サービスをお届けしています。CT や MRI、超音波診断装置などの医療用画像診断から、体内診断薬、細胞解析装置などのライフサイエンス（生命科学）まで幅広い分野にわたる専門性を駆使しながら、GE の世界戦略「ヘルシーマゼーション」で掲げる「医療コストの削減」「医療アクセスの拡大」「医療の質の向上」の実現を目指します。2016 年 4 月 1 日現在の社員数は約 2,000 名、国内に本社および 54 カ所の事業拠点。

ホームページアドレスは www.gehealthcare.co.jp (ライフサイエンス統括本部：www.gelifesciences.co.jp)